

日青協ニュース

NISSEIKYO NEWS



一般社団法人

日本青果物輸出入安全推進協会

東京都大田区東海3丁目 8-2

TSKビル3階

No.837

電話 03(6412)9977

平成 27 年 11 月 5 日

日青協ホームページにカラーで掲載しています。また、内容についてのご意見をホームページ「お問い合わせ」より、お寄せ下さい。 <http://www.fruits-nisseikyo.or.jp/inquiry/index.php>

青果物流通技術講習会の開催

平成27年度青果物流通技術講習会が、10月27日に開催された。今回は、日本青果物輸出促進協議会と共催、農産物流通技術研究会の協力で開催した。当日は、日青協の会員及び協議会の会員合わせて、25社56名が受講した。

内容は、1 「青果物流通技術の実際」と題して、東京農業大学農学部農学科ポストハーベスト学研究室馬場教授から①品質保持技術の実際(野菜、果物、切花)、②「超」長期貯蔵技術の開発について約90分の講義が行われた。引き続き、2「最近話題の青果物品質保持技術」と題して千葉大学大学院園芸学研究科 椎名教授から、① ポストハーベストの基本的事項、② 青果物品質保持技術の最近の話題(1-M CP、カピリン製剤、結露防止 MA 包装、損傷ゼロ包装、コスト・環境負荷の低減)について講義が行われ、終了後に熱心な質疑が行われた。

講義の内容は日青協及び協議会の希望者にDVDで配布することが可能なので、11月27日(金)までに事務局に申し込んでください。(氏名、所属、日青協又は協議会の会員を明記してファックスをお願いします。)



実地研修の実施について

羽田空港の国際空港ターミナルの貨物地区において、実地研修を10月21日の14時前から行った。当日は、日青協会員の参加者(40名)は国際空港ターミナルに集合して、徒歩で貨物地区に移動した。途中のセキュリティゲートで人数の確認の後、入構証を受領し、同地区の会議室において税関、検疫所、植物防疫所の担当官から、それぞれ30分から40分程度、それぞれの制度や空港の現状について説明を受けた。最後に、植物防疫所の検査場所の見学を実施して16時半ごろ解散した。

時 間	内 容	担 当
13:45～14:25	輸入通関の流れ	羽田税関支所通関総括第1部門
14:35～15:15	東京空港における輸入青果物の監視指導業務について	東京検疫所東京空港検疫所支所食品監視課
15:25～16:05	植物検疫の概要及び羽田空港支所の業務概要	横浜植物防疫所羽田空港支所
16:10～16:30	植物防疫所検査現場見学	同 上



青果物の消毒方法と対象害虫

一般の羽田空港における実地研修で、参加者より質問があったため関係資料を掲示します。

輸入青果物検疫要綱 (http://www.pps.go.jp/law_active/Notification/basis/8/52/html/52.html) から抜粋

消毒方法の基準 (http://www.pps.go.jp/law_active/Notification/basis/8/52/file/883.pdf) から抜粋

1 青酸ガスによる消毒方法の基準

検疫有害動物の種類	方法	薬量	時間	倉庫の等級	摘 要
青果物の表面に付着するアザミウマ、アブラムシ、カイガラムシ、コナジラミ等の検疫有害動物	倉庫（海上コンテナを含む。）くん蒸	液体青酸 1.8g/m ³ （10～20℃） 青化ソーダ 10.8g/m ³ （10～20℃） 5.4g/m ³ （20℃以上）	30分	特A級又はA級 （海上コンテナについては「海上コンテナ要領」第12により指定を受けたコンテナ又は同要領別表2（注）の1の（2）の圧力降下法により同表の基準を満たした密閉形コンテナに限る。）	（1）コンテナくん蒸を実施する場合は、通気性の良好な積付けであること。 （2）青果物の表面に水分のある場合及び葉菜類に対しては、薬害について注意すること。 （3）ガス濃度を15分以内に均一にできるかはん機を使用すること。 （4）くん蒸後すみやかにガスを排出する装置を使用すること。

2 臭化メチルによる消毒方法の基準

検疫有害動物の種類	方法	薬量	時間	倉庫の等級	摘 要	備 考
かんきつ類、なし、りんごに付着又は食入する検疫有害動物	倉庫（海上コンテナを含む。）くん蒸	48.5g/m ³ （5℃以上） 40.5g/m ³ （10℃） 32.5g/m ³ （15℃） 24.5g/m ³ （20℃） 16.0g/m ³ （25℃）	2時間	特A級又はA級 （海上コンテナについては「海上コンテナ要領」第12により指定を受けたコンテナ又は同要領別表2（注）の1の（2）の圧力降下法により同表の基準を満たした密閉形コンテナに限る。）	（1）コンテナくん蒸を実施する場合は、通気性の良好な積付けであること。 （2）ガス濃度を40分以内に均一にできるかはん機を使用すること。 （3）くん蒸後すみやかにガスを排出する装置を使用すること。	輸入者から要綱第12による書面が得られていること。
ぎんなん、くりに付着又は食入する検疫有害動物		40.5g/m ³	4時間			
アスパラガス、かぼちゃ、キウイフルーツ、キャベツ、ざくろ、さやえんどう、たまねぎ、ぶどう、ブロッコリーに付着又は食入する検疫有害動物		48.5g/m ³	3時間			
しょうが（根茎）、にんにく（りん茎）に付着又は食入する検疫有害動物		32.5g/m ³ （20℃以上） 48.5g/m ³ （20℃未満） 「これら以外の青果物と同時にくん蒸する場合は、48.5g/m ³ ・3時間」	2時間			
にら（りん茎）、わけぎ（りん茎）に付着又は食入する検疫有害動物		32.5g/m ³ 「これら以外の青果物と同時にくん蒸する場合は、48.5g/m ³ ・3時間」	2時間			

分散防止の基準

検疫有害動植物の種類	処 理	摘 要
青果物の荷役場所、はしけ、トラック等に付着する検疫有害動植物	清掃後、残渣の焼却若しくはくん蒸又はこれらと同等の措置	

《行事報告》

- 10/1 輸出戦略実行委員会青果物部会（荻野事務局長出席）
- 10/2 会員研修会東京会場Ⅱ（日青協会議室）
- 10/7 農薬の急性参照用量の設定に関する国際シンポジウム（川口顧問出席）
- 10/8 中南米日系農業者連携交流研修生来会
- 10/8 中華民国建国104年双十国慶祝賀レセプション（川口顧問出席）
- 10/9 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定に関する説明会（川口顧問出席）
- 10/20 輸出戦略実行委員会（荻野事務局長出席）
- 10/20 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉の大筋合意に関する説明会（中西部長出席）
- 10/21 会員研修会実地研修（羽田空港）
- 10/27 青果物流通技術講習会（東京都大田市場会議室）
- 10/28 公認会計士監査
- 10/30 協会監事監査
- 10/30 農林水産物等輸出促進全国協議会総会（荻野事務局長出席）

IPPC 国内連絡会の開催について

国際植物防疫条約に関する国内連絡会が平成27年11月5日の13時30分から農林水産省で開催されました。冒頭、植物防疫課の中川室長の挨拶に続いて、前回7月に開催された第1回で委員から意見のあった事項について取りまとめて、我が国の意見を提出するため議論がおこなわれました。

主な内容は

- ① 輸入国による輸出国でのコンプライアンスの確認
- ② 木材こん包材用消毒基準の改正
- ③ 病害虫の植物検疫処理プロトコルの追加 青果物関係では「クインスランドミバエに対するマンゴウの蒸熱処理」となっています。

このうち、青果物関係では③がもっとも関係が深いところですが、マンゴウの品種により殺虫効果に差があることから、品種を特定することとのコメントを行うこととなりました。

なお、前回の資料は以下のとおりです。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/ippc_kokunai/h27_1haihu.html



平成 27 年 11 月 6 日

会員各位

(一社) 日本青果物輸出入安全推進協会
会長 守谷 潤一

輸出促進のためのジェトロ事業の活用について

輸出促進のための事業として、ジェトロにより様々な事業が実施され、日本青果物輸出促進協議会では会員向けにセミナーが企画されているところです。

このため、日青協としても共催で会員の皆様にご案内致します。

つきましては、参加希望者は下記様式に所要事項をご記入のうえ、平成 27 年 11 月 20 日までに協議会事務局まで御回報 (FAX) いただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナー終了後、希望者とジェトロ講師による個別相談・質問対応を実施しますので、本様式の最後に記入してください。

記

日 程：平成 27 年 11 月 26 日 (木) 午後 14 時

実施場所：(一社) 日本青果物輸出入安全推進協会会議室 (日本青果物輸出促進協議会) 東京都大田区東海 3-8-2 TSKビル 3 階

※会場地図は日青協ホームページ参照

http://www.fruits-nisseikyo.or.jp/profile_organization.html

内容：○ジェトロ事業の紹介 14:00～15:00
ジェトロ農林水産・食品部農林水産支援課長 中島 潔
同 農林水産・食品課課長代理 淵田 裕介
○ジェトロ貿易オンライン講座の紹介 15:00～15:30
ジェトロお客様サポート部主幹 宮部 剛
○個別相談・質疑応答 15:30～16:00

----- 申込書 -----

(一社) 日本青果物輸出入安全推進協会 (FAX: 03-6412-9976)

今般通知のあったジェトロセミナーには次の者が出席します。

希望者名	御社名及び所属部署名	備考

(※希望者が多く記入ができない場合には、別葉にしてご記入ください)

個別相談・質問事項 (希望者のみご記入ください)

相談・質問事項	連絡先 (メールアドレス等) ※
(具体的にご記入ください)	

※ジェトロ担当者から相談・質問内容について照会をする場合があります。